

Step 2 八王子市の景観づくりを知る

景観づくりを考えていく上で、Step1での身の回りの景観を知ることに加えて、広域的なまちづくりの方向性に即することが大切です。市では、景観計画の中で、八王子の景観づくりの考え方や方向性を示していますので、これらを踏まえて、地域の景観づくりにつながるよう進めていきましょう。

1. 八王子市の景観づくりの目標

八王子市全体の景観づくりの基本理念、目標を以下に示します。

—基本理念— 豊かな自然に抱かれた 住み続けたいまち 八王子

基本目標1：山並み・河川・街道を軸として、地域をつなぐ景観づくり

「八王子らしい景観」のイメージを市民が共有できるように、本市の景観を構成する重要な骨格である山並みや丘陵地の緑、河川、幹線道路等を、多彩な地域をつなぐ軸として際立たせ、都市と自然、地域と地域の関係性を高めます。

基本目標2：賑わい・活力・交流を育む景観づくり

八王子駅をはじめとする駅周辺や、高尾山等の自然や歴史的環境を活かした公園や観光地等について、多くの市民や来訪者が訪れ、集い、交流する拠点として、賑わいや活力、風格が感じられる、本市の顔にふさわしい景観づくりをめざします。

基本目標3：地域の特色に根ざした暮らし・営みを支える景観づくり

豊かな自然が溢れる山地、懐かしさを感じさせる里山や田園集落、宿場町や織物のまちから発展した既成市街地、ニュータウン、商業集積地や工業地等、それぞれの地域の成り立ちや個性に根ざした、多彩な魅力を引き立てます。

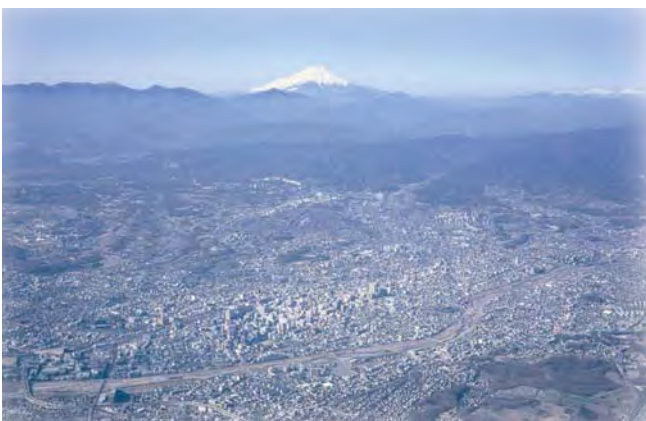
基本目標4：歴史・文化・四季・眺めを活かし、暮らしを彩る景観づくり

歴史的な面影を残すまち並みや地域の歴史的資源、伝統行事や祭事等を守り育み、豊かな自然が支える四季の情景や、地形の変化が生み出す特徴的な眺めを活かしながら、心地よく豊かな生活が感じられる景観づくりをめざします。

基本目標5：協働で進める景観づくり

市民、事業者、市等の、都市活動を行う全ての主体が景観づくりの主役であることを理解し、それぞれの役割を担い、協力して取り組むことにより、八王子の美しい景観を将来にわたって守り育みます。

※詳しくは【景観計画p42～46】を参照してください。



Step 1

身の回りの
景観を調べて、
知る

Step 2

八王子市の
景観づくりを知る

Step 3

景観づくりを考える

Step 4

よりよい景観づくりに
向けて工夫する

2. 地域区分と地域の景観づくりの方針

八王子の景観の特徴である丘陵地・山地等の豊かな自然と調和した景観、地域ごとの個性ある景観を活かした景観づくりを進めるため、下記の三つの視点から、景観づくりの方針・基準を定めています。

■山並みや丘陵地の緑と調和した景観づくり

- ・まち並みと山並み・丘陵地の緑との調和を意識し、共生させる地域として「緑との共生ゾーン」を設定し、豊かな緑や起伏に富んだ地形を活かすための基準を設定します。
- ・ゾーン内では、特に緑や水辺等自然環境との調和や、眺望への配慮を求めます。

●緑との共生ゾーン（内、外）

■地域ごとの特色を活かした景観づくり

- ・地域ごとの特色を活かした景観づくりを進めるため、景観計画では、市域を「八王子ゆめおりプラン」の6地域に区分し、それぞれの地域における特性や魅力、地域固有の景観資源を活かすための方針や基準を設定します。

●6地域区分

- (1) 中央地域
- (2) 北部地域
- (3) 西部地域
- (4) 西南部地域
- (5) 東南部地域
- (6) 東部地域

■重点地区の景観づくり

- ・「八王子らしい景観」のイメージをつくり、本市の魅力を高めていくため、多くの人々が利用する駅周辺等の公共性の高い地区や、甲州街道等の本市のシンボルとなる地区について「重点地区」として指定し、よりきめ細かく積極的に景観づくりに取り組んでいきます。
- ・各地区では、それぞれの景観特性を踏まえて、地区ごとに景観づくりの方針や基準を定めます。

●重点地区

- (7) 甲州街道沿道地区
- (8) 中心市街地環境整備地区
- (9) 高尾駅・多摩御陵周辺地区
- (10) 裏高尾・小仏地区
- (11) 高尾山参道周辺地区
- (12) 浅川沿川地区



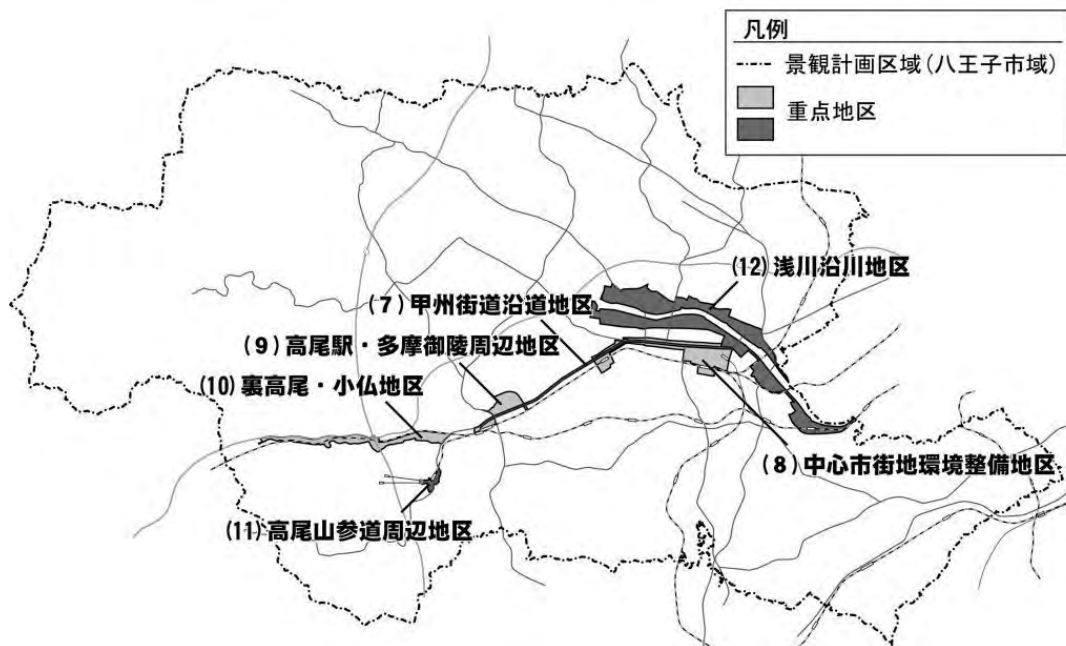
重点地区の指定

きめ細かく積極的に景観づくりを進める為に、以下の地区を重点地区として指定しています。

* 景観特性の調査結果を踏まえ、重点地区の中で小規模な建築物等が景観形成に大きな影響を与える「高尾駅・多摩御陵周辺地区」「高尾山参道周辺地区」の2地区については、事前協議の対象としています。

* 重点地区の指定は、市として重点的に取組む必要がある地区を指定していますが、その他必要がある地区については、今後追加指定していくことも検討していきます。

地区名称	地区の位置づけ
(7)甲州街道沿道地区	<ul style="list-style-type: none"> ○古くからまちの発展を支えてきた場所であり、現在も広域的な地域を結ぶ主要道路として、八王子の中心を貫くシンボル性の高い地区です。 ○街道沿いにある市天然記念物であるイチヨウ並木が映える、賑わいと風格ある景観づくりを進めていきます。
(8)中心市街地環境整備地区	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の結節点であり、商業・業務施設が集積し、多くの人々が利用する、八王子の顔となる地区です。 ○「八王子市中心市街地環境整備事業に関する指導要綱」による取り組みを継承・発展させ、中心市街地の賑わいや風格ある景観の創出を進めていきます。
(9)高尾駅・多摩御陵周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ○多摩御陵や南浅川、旧甲州街道等の自然や歴史文化に富んだ地区です。 ○落ち着いた景観を保全・活用し、自然や歴史文化を回遊する心地よいまち並み景観を形成していきます。
(10)裏高尾・小仏地区	<ul style="list-style-type: none"> ○山間部を通る旧甲州街道で、多くの登山客が訪れる地区です。 ○山並みの緑や水辺と集落のまち並みが一体となった、八王子の原風景となる景観を保全・活用し、レクリエーションの場として活用していきます。
(11)高尾山参道周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの観光客が訪れる高尾山の玄関口として、八王子を代表する地区です。 ○豊かな自然との調和を図りつつ、参道の趣を活かした賑わいのある景観づくりを進めていきます。
(12)浅川沿川地区	<ul style="list-style-type: none"> ○八王子の中心を流れ、市民の憩いの場となっている地区です。 ○浅川の開放感や眺望を大切に、心地よい潤いの感じられる景観づくりを進めていきます。



Step 1

身の回りの
景観を調べて、
知る

Step 2

八王子市の
景観づくりを知る

Step 3

景観づくりを考える

Step 4

よりよい景観づくりに
向けて工夫する

(1) 中央地域

景観形成方針／主なテーマ

○八王子駅周辺の賑わいや活力にあふれた景観づくり

- ・JR八王子駅北口や京王八王子駅周辺など、商業・業務機能の集積を活かし、本市の玄関口にふさわしく賑わいや活力を持った景観を形成する。

○JR八王子駅南口周辺の賑わいと親しみが感じられる景観の形成

- ・利便性や快適性の確保とともに賑わいや活力が感じられる景観を創出する。
- ・とちの木通りの沿道とその周辺では、近隣型の商業施設等が、低中層を基調とした市街地景観と調和した、親しみが感じられるまち並みを形成する。

○甲州街道沿道のシンボル性の高い風格ある景観の形成

- ・商業機能の集積を図りつつ、賑わいの創出や安全で快適な歩行者空間の形成を図る。また、歴史的な建造物等を保全・活用するなど、地域の成り立ちや歴史が感じられる景観を形成する。

○浅川の開放感や眺望を大切に景観づくり

- ・水辺を身近に感じ、空の広さが実感できる開放的な景観を形成する。



※詳しくは【景観計画p69～70】を参照してください。

(2) 北部地域

景観形成方針／主なテーマ

○加住丘陵等の地域の景観の骨格を活かした景観づくり

- ・加住丘陵の緑を地域の骨格として適切に維持するとともに、滝山街道や谷治川等からの眺めを確保するなど、丘陵地の緑と調和した景観を形成する。

○谷治川を地域のシンボルとして育む

- ・水辺を身近に感じられる、明るく開放感のある景観を形成する。

○滝山城跡の自然や歴史を活かした景観づくり

- ・滝山城跡（公園）から多摩川等への眺望の確保に努め、周辺の寺社等の歴史的な資源とのネットワークの形成等により、回遊性をもった景観形成を図る。

○暮らしの場としての滝山街道沿道の景観を整える

- ・地域の生活の場としてふさわしい、賑わいや個性が感じられる景観を形成するとともに、農地や加住丘陵の緑との調和を図り、豊かな自然が映える景観を形成する。

○新たなまちづくりにおける景観づくりを検討する

- ・新滝山街道沿道や中央自動車道八王子インターチェンジ周辺では、景観のまとまりの創出を図るとともに、周辺の自然環境と調和した景観づくりに努める。



※詳しくは【景観計画p77～78】を参照してください。

(3) 西部地域

景観形成方針／主なテーマ

- 陣馬山や今熊山等の山地や里山を保全・活用した景観づくり
 - ・陣馬山や今熊山等の山地や里山、浅川等の、地域の景観を印象づける自然環境を保全し、緑豊かな景観の維持に努める。
- 八王子城跡の歴史的資源を保全・活用した景観づくり
 - ・八王子城跡は、その歴史的環境を維持保全するとともに、地域のシンボルとして、周辺の自然景観と一体となった風格ある景観を形成する。
- 浅川や川口川の開放感や眺望を大切にしたい景観づくり
 - ・浅川や川口川では、水辺を身近に感じられ、空の広さを実感できる開放的な景観を形成する。
- 暮らしの場としての陣馬街道や秋川街道等の沿道景観づくり
 - ・陣馬街道、秋川街道、高尾街道は、地域の生活の場としてふさわしい、賑わいや個性が感じられる景観を形成する。



※詳しくは【景観計画p85～86】を参照してください。

Step 1

身の回りの
景観を調べて、
知る

Step 2

八王子市の
景観づくりを知る

Step 3

景観づくりを考える

Step 4

よりよい景観づくり
に向けて工夫する

(4) 西南部地域

景観形成方針／主なテーマ

- 甲州街道の風格ある景観づくり
 - ・イチョウ並木は、本市のシンボルとして適切に維持・管理し、風格が感じられる景観を形成する。
- 高尾山周辺の賑わいと豊かさが感じられる景観づくり
 - ・高尾山の山並みを維持・保全し、自然景観を身近に体験できるレクリエーションの場として活用した景観を形成する。
- 旧甲州街道周辺の趣を保全・活用した景観づくり
 - ・黒塀や庭木、石積み水路を維持・保全し、往時の街道の面影が感じられる落ち着いた景観を形成する。
 - ・多摩御陵参道は、シンボル性のある通りとして、ケヤキ並木を適切に維持・管理し、豊かな緑と水辺が一体となった優れた風致景観を保全する。
 - ・南浅川の親水性を確保し、桜並木や河川沿いの公園・丘陵地等の緑と水辺が一体となった潤い豊かな景観形成を図る。
- 丘陵地の眺望を大切にしたい景観づくり
 - ・めじろ台や館町等の丘陵地上に開発された戸建て住宅地では、敷地内の緑化推進等により落ち着いたまち並みを保全する。



※詳しくは【景観計画p93～94】を参照してください。

(5) 東南部地域

景観形成方針／主なテーマ

○北野駅・八王子みなみ野駅周辺の賑わいと親しみを感じられる景観づくり

- ・北野駅前では、商業施設の集積を活かし、地域・交流の拠点として賑わいと活力のある景観を形成する。
- ・八王子みなみ野駅前では、八王子ニュータウンや大学等の玄関口として、歩行者の快適性が確保されたゆとりと賑わいのある景観を形成する。

○湯殿川、兵衛川の河川空間の魅力づくり

- ・湯殿川及び兵衛川では、水辺を身近に感じることができる潤い豊かな景観を形成する。

○計画的な住宅地の良好な景観づくり

- ・北野台団地、絹ヶ丘団地等の丘陵地の開発された計画的な戸建て住宅地では、住宅地内に整備された雰囲気の良い緑道を維持し、敷地内の緑化の推進とあわせ、良好な緑に包まれた落ち着きのあるまち並みの景観を保全する。

○丘陵地からの眺望を大切にした景観づくり

- ・丘陵地の住宅地から、周辺の山並みや市街地等への眺望を確保する。

○まとまりのある農地の保全による景観づくり

- ・小比企町のまとまりのある農地や片倉城跡公園の西側に広がる農地は、地域の特徴ある景観として保全する。

○新たな幹線道路と緑豊かな環境が調和した景観づくり

- ・小比企丘陵を横断して整備が進む八王子南バイパスでは、地域の環境をより向上させる質の高い街路景観を保全する。



※詳しくは【景観計画p101～102】を参照してください。

(6) 東部地域

景観形成方針／主なテーマ

○多摩ニュータウンの良好な市街地景観の維持・向上

- ・多摩ニュータウンでは、計画的に整備された道路植栽や広場、公園等の緑地を保全し、ゆとりと開放感のある良好な住宅地景観の維持保全を図る。

○多摩丘陵地内の公園や里山の豊かな緑に囲まれた景観づくり

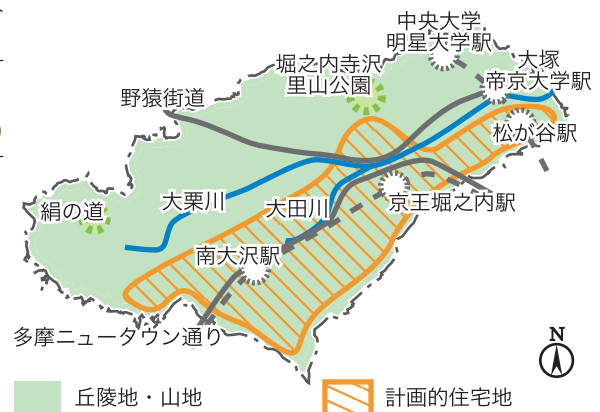
- ・堀之内寺沢里山公園は、豊かな自然環境を保全し、公園までのアプローチ道路や隣接する公園、寺社等とあわせ、一体的な里山の雰囲気となるような景観を形成する。

○河川沿いの開放感や高台からの眺望を大切にした景観づくり

- ・大栗川や大田川では、遊歩道や橋りょうから得られる良好な眺望を保全し、開放的な景観形成を図る。
- ・多摩ニュータウンの公園等の高台では、良好な眺望を確保する。

○点在する緑や歴史的な景観資源を保全・活用した景観づくり

- ・往時の面影を残す絹の道や絹の道資料館周辺の景観を保全する。



※詳しくは【景観計画p109～110】を参照してください。